

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム ヴィライフ御津

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 12 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化・終末期に向けた支援について、全職員の研修が終わっていない。家族・主治医・看護師と方針を共有するなど、チームで支援できる体制を取る必要がある。	全職員が終末期に向けての支援がチームで共有できる。	・終末期の指針の把握(研修にて) ・看取り支援の研修 ・看取り支援の介護技術向上	6 ヶ月
2	2	コロナ禍と言うこともあり、地域との交流が図れていない。地域の一員として、日常的に交流を図る必要がある。	地域との交流が深められるよう工夫をし、繋がりを持つ。	・地域の行事の参加 ・町内会長・民生委員の方達より情報を収集し、インフォーマルなサービスの提供の工夫をする。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。